

名称 SCOPE (Scientific Committee on Problems of the Environment)

日本語名 環境問題に関する科学委員会

親機関 ICSU

住所 51, Boulevard de Montmorency, F-75016, Paris

国名 FRANCE

電話 33-1-45-25-04-98

ファックス 33-1-42-88-94-31

1. タイプ：国際研究評価機関

2. 地理的範囲：世界

3. 目的

SCOPE は1969年に国際的な非政府、非営利機関として設立された。SCOPE は現在35のメンバー国／学会と21の関連ICSU連合のメンバーを含んでいる。

目的とするところは、

- (1) 環境変化が人の健康や福祉に与える影響とともに、人間の環境への影響に関する知見を進展させること。とくに地球規模や複数の国にまたがる影響に注目している。
- (2) 科学者の非政府、学際的、国際的会合の場として機能するとともに環境問題に関して、各国政府や国際的な非政府組織の利益となるような助言機関として機能する。

委員会は地球規模の問題を同定し、問題の理解に有用な貢献を行うことを意図している。SCOPE のとりあげるべき問題については、次の5つの規準が適用される。

- (1) SCOPE は利用可能な科学的知見を複合し、批判的に評価すること、ギャップを見出すこと、新しいアプローチを強調すること、新たな研究方向を推奨すること。SCOPE は実験室または現地レベルにおける研究には直接関わらない。
- (2) SCOPE は地球環境科学に重大な科学的問題を扱う。
- (3) SCOPE は限られた人的、財源の範囲内で、かつ適当な期間で完了することにより有用な問題を中心に取り扱う。
- (4) SCOPE は純粋に国際的、非政府、学際的な活動を強調している。各国の問題についてはこのレベルで扱われている (ICSU連合と他の科学団体は、一般に特定分野内で分析を扱うことにもっとも適している)。
- (5) SCOPE は既存の組織の範囲内で明らかな問題は除いている。

全体会議が3年に一度開催される。SCOPE はICSUの一委員会であり、国際的、非政府科学組織である。ICSUのメンバーは67カ国、20の科学連合であり、準メンバーとして26学会、7国を含んでいる。複数の学術連合間で協力を行う必要がある場合に、ICSUはSCOPE のような学際的な科学委員会を設立して対処する。

SCOPE の扱う分野は以下のとおり。

生物化学的循環／生態毒性学／環境中の遺伝子的に設計された生物 (genetically designed Organs) ／沈下しつつある海岸地域／地球規模の変化／地下水汚染／持続的開発のための科学情報の活用。

4. データ管理

持続的開発のための科学情報の活用では、開発に環境を考慮するために必要な科学データや情報の特定、そうしたデータ・情報の利用方法の開発等を検討している。一連のワークショップが計画・実施されてきた。1990年にラテンアメリカ、続いて米国、インド、ギニアで開発され、1993年中頃には欧州で最終会合が開催される予定である。

5. 協力関係：――

6. 参考文献

SCOPE, 1989-1991: Scientific Committee on Problems of the Environment.

SCOPE, 1990-1992: Scientific Programme.